

(表)

別記様式第3号(第4関係)(その1-2)

市街地利用ゾーン 景観形成基準適合確認判定表(建築物及び工作物)

届出者:		適合確認者:		
行為の場所:		ゾーン区分:市街地利用ゾーン		
項目	景観形成基準	適合確認欄	具体的な取り組み	適合判定欄※
配置	道路からの位置			
	周辺と壁面線を調和させるとともに、道路等の公共施設に面する壁面の後退等により、オープンスペースを設け、ゆとりある町並みを形成する。			
	周辺から壁面線を大きく後退させる場合は、門や塀、植栽等の設置により、町並みの連続性を途切れさせない工夫をする。			
高さ	背景となる風景と町並みに配慮した高さ			
	周囲の町並みとしての連続性に配慮するとともに、圧迫感を生じないように努める。			
	山並みが眺望できる場所では、市街地の背景となる山並みの稜線に配慮した高さとする。			
形態意匠	良好な町並みの形成			
	町並みの統一感や連続性に配慮し、建築物と周辺の景観にも違和感なくなじむ、まとまりのあるものとする。			
	暮らしへの配慮			
	生活者に、落ち着いた雰囲気を与えるようなものとする。			
	来訪者を心地よく迎える配慮			
	複合都市拠点や駅周辺では、栃木の歴史的町並み景観と都市景観が融合した、玄関口にふさわしい景観を形成する。			
	魅力的な歩行者空間を創出すべき場所では、低層部の形態・意匠に配慮する。			
色彩	市街地の形態に応じた色彩による調和			
	周辺の建築物や背景となる風景から突出した色の使用を避け、周辺の町並みと調和した色調とする。			
	色彩ガイドラインに適合し、良好な景観形成に資する色彩とする。			
素材	自然素材や地域で使われてきた素材の活用			
	自然素材を活用するとともに耐久性、季節や気候の変化に強い素材を使用する。			
	伝統的に使用されてきた素材等、地域の景観を特徴づける素材や地場産業の素材、伝統的な工法を積極的に取り入れる。			

(裏)

項目	景観形成基準	適合確認欄	具体的な取り組み	適合判定欄※
その他	付帯設備 屋外設備、屋上設備は、建築物と一体的なデザインの壁や格子状のもので覆う等、目立たないようにする。			
	付属施設 車庫や物置、倉庫等の付属物は、圧迫感を生じないようにし、建築物と一体的なデザインとする等雑然としないように努める。			
	緑化 住居系市街地においては、生垣等の設置や敷地内緑化により、緑あふれる町並みの形成に努める			
特筆すべき具体的な取り組み				

(備考)

1. 届出対象行為が、景観形成基準に適合しているか確認をしてください。
2. 市街地利用ゾーンの景観形成基準について届出対象行為の適合確認を行ない、適合確認欄に✓(チェック)を記入してください。
3. 具体的な取り組み欄については、その景観形成基準に適合するため行なう取り組みを具体的に記入してください。
4. 特筆すべき具体的な取り組みの欄については、具体的な取り組みの中で、特に景観形成基準に適合するため行った取り組みについて、具体的に記載してください。
5. 適合判定欄※は、市が適合判定の際に使用しますので、何も記入しないでください。